



2024年2月13日

各位

会社名 バーチャレクス・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 丸山 栄樹  
(コード: 6193 東証グロース)  
問合せ先 取締役 経営管理本部長 黒田 勝  
(TEL. 03-3578-5300)

### 特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）において特別損失を計上いたしました。また、2023年5月11日に公表した2024年3月期通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 連結業績予想

(1) 2024年3月期通期（累計）連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,150	百万円 610	百万円 610	百万円 439	円 銭 150.28
今回修正予想（B）	6,650	305	330	120	41.03
増減額（B - A）	△500	△305	△280	△319	
増減率（%）	△7.0	△50.0	△45.9	△72.7	
（参考）前期実績 （2023年3月期）	6,798	576	497	635	217.74

#### 2. 連結業績予想修正の理由

IT&コンサルティング事業では、前連結会計年度より開発に手数を要している案件が当第4四半期に入りようやく検収に至ったものの、前回見通し以上の工数と期間を要し相応の損失を計上することとなりました。その結果、当該セグメントでは、前回予想に対して売上は微減ながら、営業利益では30%程度下回る見通しです。

アウトソーシング事業では、新型コロナウイルス感染症に伴う特需案件が収束する中、新規案件受注および既存案件拡大で埋め合わせる計画でしたが、前回予想より低調に推移しています。この結果、当該セグメントでは、前回予想に対して売上は13%程度、営業利益は20%程度下回る見通しです。

また、当第3四半期連結累計期間において、前回予想で見込んでいなかったソフトウェアの減損損失46百万円を子会社にて特別損失として計上し、保有投資有価証券の評価損失を当社にて56百万円、子会社にて4百万円、それぞれ特別損失として計上しています。

これらの状況から、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、上記の通り業績予想を修正いたします。なお、当社におけるIT&コンサルティング事業とアウトソーシング事業の事業構成比は概ね3対2となっています。

(注) 上記の予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。